

教科	算数	単元名	□を使って場面を式に表そう
----	----	-----	---------------

**本時のねらい**

・数量の関係や場面に着目して、□の含む式が立てられる場面を自分で考えることができる。

**本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい**

・既習の単元で児童たちが考えて、活用したムーブノートのスライドを確認する。またその際、違う教室の友だちの考えも確認する。  
・2教室間でオンラインを行い、学習活動のズレを少なくする。

**活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等**

・Chromebook    ・電子黒板    ・ムーブノート

**本時の展開**

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既習事項を振り返る。</li> <li>・数量関係を表す式を□などを用いて表す。</li> <li>○本時の課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆既習の単元で、児童たちが考えて活用したムーブノートのスライドを確認する。</li> </ul>
展開 (33分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えた「□を使った式になるようなお話」を考えて、それをムーブノートに書き込み、「ひろば」に提出する。</li> <li>○クラスメイトが作ったお話から□を使った式を立てる。</li> <li>○ムーブノートで問題を解いた児童は新たな問題をムーブノートに書き込んでいく。</li> <li>○自分がチャレンジしたお話を全体に共有する。</li> <li>○□を使った式を立てることができる算数ストーリーなのか、式が正確に立てることができるかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆2教室間でオンラインを行い、学習活動のズレを少なくする。</li> <li>☆自分の考えを発信する。</li> <li>☆より多くのクラスメイトの考えを確認する。</li> <li>☆違う教室の友だちの考えも確認できる。</li> <li>☆指導者側もどの児童がどんな考えをもっているかを即座に確認できる。(チエル)</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の振り返りをする。</li> <li>○振り返りを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆児童が書き込んだ振り返りを電子黒板に映し出して発表する。</li> </ul>

**1人1台端末を活用した活動の様子**



写真1：□を使った式になるお話づくりをする場面



写真2：クラスメイトが作ったお話を見る場面



写真3：クラスメイトの作ったお話から式を立てる場面

**児童生徒の反応や変容**

・一人で考える時間もしっかり確保したが、共有した全員のお話を見ることができることで、意欲的に取り組むことができていた。  
・少人数教室という物理的に離れた空間で、教室を移動することなくそれぞれの考えを共有できるよさを感じていた。

**授業者の声～参考にしてほしいポイント～**

本時での取り組みは、教室を分割して行うような授業で非常に有効な活用方法の一つであると考えられる。しかし、授業のペースを合わせる必要があり、進行に大きなズレが生じると意見の共有が上手くできないというデメリットがある。そこで、2教室間でオンラインで接続し、連携を取りながら進めることにした。

今後も、この活用方法を積極的に取り入れ、児童がよりたくさんの考えに触れて、自分の考えを深めたり、広げたりする機会を増やしていきたいと思う。